



忘年会を開催しました

12月19日(木)、柳ヶ瀬の「楮」にて、組合の忘年会が開催されました。昨今の「高齢化」を考慮し、「若手」という縛りをとったこともあり、30数名の方がご参加くださいました。地元の素材を用いた料理と酒に舌鼓を打ちつつ、名大との合併や今後の組合活動に関して談論風発、盛り上がりました。

名大との合併が目前に控えておりますが、大学からの説明によると、ほとんど何も決まっておりません。だからといって、組合が何も発言しなければ、なし崩し的に「改革」が進んでいくと思われます。忘年会を通して、組合としては、学部の垣根を越えて、そして常勤の教員だけでなく非正規の教員も含めて、さらには組合員が少ない事務職員のことでも考慮して、「改革」に対して取り組んでいかなければならないことを感じ取りました。なぜなら、事務職員や非正規の教員の労働条件の悪化は、つまるところ、常勤教員の研究・教育の環境悪化に結びつくからです。このようなことを再認識したという点で、忘年会は有意義だったと思います。



(中央執行副委員長 伊原亮司)

第30回 医科系大学教職員懇談会に参加して

11月30日、12月1日の2日間にわたり、岡山大学鹿田キャンパス記念会館にて「第30回医科系大学教職員懇談会」が開催されました。「安全・安心な医療、安心して働き続けられる大学病院を」のスローガンのもと、全国10大学32名の参加者があり、2つの分科会に分かれ協議が行われました。

まず病院協議会幹事の馬田哲次さんより、医大懇開催の目的や大学病院を取り巻く状況、30年目の節目として働きやすい職場をつくるための組合の役割などについて基調報告がありました。

続いて、全大教の顧問弁護士である笹山尚人氏を迎え、「労働関係法を活用し、いきいきとした組合活動を！」をテーマに、労働組合として適切に病院運営が行われているかをチェックすべきであることが指摘されました。先生が扱った過労死事件は、業務実態、労働時間数ともにひどいものです。労働時間の概念を正確に知っておく必要性についても解説していただきました。

第1分会では、「安全・安心の医療をめざして、教職員の労働条件改善」をテーマに、各大学のアンケート調査の結果報告や雇用の無期転換に関する事項、夜勤回数の実態、超過勤務の状況などに関して、幅広く議論することができました。

わたしが参加した分科会は「魅力ある組合と組織づくり」をテーマに、岡山大学、大分大学、山口大学、名古屋大学の参加者から、組合加入説明会、組合の活動報告、組合活動の課題などについて、活発に意見交換することができました。すべての組合が、新規加入者の勧誘で苦労しているものの、4月の新規組合員募集時に先輩看護師に説明してもらったり、ビデオで組合の大切さをアピールしたりすると効果的であること、また、説明会の前に看護部長の挨拶があってスムーズにいった報告もありました。

組合の成果をどのように伝えればいいのかについての発表もありました。岡山大学のニュース（組合だより）が毎月発行され、非組合員の方にも配られ、読みやすいレイアウトで好評を博しているという報告がありました。

大学ごとに様々な課題を抱えていますが、良いところは共有し、ひとりでも多くの組合員を勧誘できればと思いました。医大懇での情報共有や意見交換を参考に、今後の組合活動に活かしていきたいです。そして、安全・安心な医療を提供できるように、全国の国立大学病院で働く教職員の力を合わせ、よりよい大学病院にするために努力していくことが重要であると感じました。散会した後も議論は続き、交流を深めることができました。名古屋大学の方からは、統合を機に、交流ができると良いですねと声をかけていただき、再会を誓いました。

（病院 宮部素子）

岐阜県労働者球技大会「ボウリング地区大会」に参加しました

2019年10月25日（金）に岐阜県労働者球技大会「ボウリング地区大会」が開催され、応用生物科学部支部の4名が岐阜大学代表として参加してきました。本チームは毎年参加しており、2年連続で上位3位までに与えられる県大会への出場権を獲得しています。

当日は全員本調子ではなく、今までにない苦戦を強いられました。ですが粘り強い投球を続け、大崩れすることなくなんとか3位にすべりこみ、3年連続で県大会への出場権を得ることができました。残念ながらその後の県大会へは参加者のスケジュールが合わず、棄権することになってしまいましたが、来年も県大会への出場および上位入賞を目指して精進していきます。



（応用生物科学部支部 酒向隆司）

岐阜大学職員組合活動〔短信〕

第36期の組合活動について、これまでどんなことを行ってきたのか（それとも何もできていないのか）をご報告します。

ただ、組合の皆様のご協力がなければ、活発な取組みを行うことができません。是非ともお力添えをいただきますようお願いいたします。

①東海国立大学機構設置に伴った取組み

- 10月、11月に中央執行委員会などで機構設置に係る諸問題について検討し、前35期の組合四役の方々とともに「団体交渉準備委員会」と立ち上げました。
- 12月には名古屋大学職員組合の執行委員の方々と意見交換会を行い、双方の大学が抱える課題について話し合いをしました。
- 12月23日に実施された人事制度統合方針に関する全学説明会に先立ち、12月20日に大藤理事（総務・財務担当）と会合を持ち、職員組合から意見提示を行いました。
- 1月24日に本年3月までに機構設置に係る諸問題について団体交渉するよう要求書を提出しました（要求書については次回のニュースでお知らせします）。

②組合ブログの作成

- ニュースだけでなく、組合ホームページに組合活動、さまざまな催し（レクリエーション）、学内の出来事（学生との取組み）などを発信する「組合ブログ」を作成します。ご覧いただき、皆様からのコメントをいただければと思います。よろしくお願いします（最初に何を書こうか迷っています…）。

（中央執行委員長 坂本一也）

新春のつどいのご案内

あけましておめでとうございます。
日頃の組合活動にご理解とご協力をいただきまして
ありがとうございます。新年にあたり、組合の更なる
発展を願い、下記の日程で「新春のつどい」を開催致
します。ふるってご参加ください。

2月5日(水) 18時～
岐阜大学生協 第2食堂
会費 1,000円
支部より全額補助！

参加希望者は、支部役員または組合事務室
(shibata@gifunion.sakura.ne.jp) まで



岐阜大学職員組合 中央執行委員会